

今週（6月9日から6月13日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心に堅調な資金調達ニーズが見られ、レートは0.475～0.478%近辺での推移となった。加重平均レートは、9日(月)～11日(水)までは0.477%の横ばいで推移したが、12日(木)は、付金利を上回る水準で纏まった金額の試し取りが実施されたことから、0.481%まで上昇した。13日(金)は、週末を跨ぐ取引となった事から、通常取引を中心に落ち着いた相場となった。

日銀当座預金残高は、9日(月)に財政資金の払いがあり520兆円弱まで増加して始まった。その後は、12日(木)まで横ばい水準での推移が続いたが、13日(金)に年金定時払いを受けて、529兆円程度まで大幅に増加する見込みとなった。

●レボ市場

今週のレボ市場GC O/N物は、0.485～0.50%で推移した。先週末の後場にレートが上昇した流れを引き継ぎ、週を通して高めのレートで安定して推移した。

SC取引の個別銘柄では、2Y455～473回、5Y150～178回、10Y355～378回、20Y180～192回、30Y65～85回、40Y13～17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーン、6Mゾーンが堅調に推移した。

9日(月)に6M物、13日(金)に3M物の入札が実施されたが、いずれも事前予想より強い結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移する展開となった。

●CP市場

今週のCP市場は、小売業、食料品業など複数の業態から大型発行が行われた。

市場発行残高は、週を通して23兆円台後半で安定的に推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/9 (月)	38,088.57	1.470	144.85	0.477	0.490	5,198,600
6/10 (火)	38,211.51	1.475	144.66	0.477	0.489	5,209,900
6/11 (水)	38,421.19	1.455	144.88	0.477	0.489	5,195,700
6/12 (木)	38,173.09	1.455	144.04	0.481	0.489	5,202,100
6/13 (金)	37,834.25	1.399	143.00	0.477	0.490	5,292,200

来週（6月16日から6月20日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/16 (月)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～)				
6/17 (火)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30)				米FOMC(1日目) 5月の米小売売上高 5月の米鉱工業生産・設備稼働率 4月の米企業在庫
6/18 (水)	5月の貿易統計(財務省 8:50) 4月の機械受注統計(内閣府 8:50) 4月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)				米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 5月の米住宅着工件数 5月のユーロ圏消費者物価指数改定値 5月の英消費者物価指数
6/19 (木)		TDB 1Y 6/20発行 32,000億円	5Y 6/20発行 24,000億円		英中銀MPC New York祝日(Juneteenth National Independence Day)
6/20 (金)	植田総裁 全国信用金庫大会における挨拶 金融政策決定会合議事要旨(4月30日・5月1日分 8:50) 5月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB 3M 6/23発行 44,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/16 (月) 日銀予想	100	▲ 2,400	▲ 2,300	国債買入 社債買入 国債補完	9,700 ▲ 100 2,600		12,200	9,900	個人向け発行▲3,300償還600 TB3M発行▲44,000償還45,000
6/17 (火) 弊社予想	▲ 1,100	▲ 500	▲ 1,600				0	▲ 1,600	
6/18 (水) 弊社予想	▲ 300	1,000	700	貸出増加	▲ 94,100		▲ 94,100	▲ 93,400	
6/19 (木) 弊社予想	▲ 200	1,000	800				0	800	
6/20 (金) 弊社予想	▲ 800	35,500	34,700				0	34,700	国債大量償還・利払い TB1Y発行▲32,000償還32,000 5Y発行▲24,000償還18,700 10Y償還8,300、20Y償還14,400 エネルギー対策借入▲8,315期日8,200
週間合計	▲ 2,300	34,600	32,300	—	▲ 81,900	0	▲ 81,900	▲ 49,600	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45～0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、19日(木)に1Y物、20日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、18日(水)に五・十日による発行集中日が予定されており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、16日(月)～17日(火)に日銀金融政策決定会合、日銀総裁定例会見、18日(水)に5月の貿易統計、4月の機械受注統計、20日(金)に植田総裁 全国信用金庫大会における挨拶、金融政策決定会合議事要旨(4月30日・5月1日分)、5月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では15日(日)～17日(火)にG7カナダサミット、17日(火)に5月の米小売売上高、17日(火)～18日(水)に米FOMC、FRB 米経済見通し発表、19日(木)に英中銀MPCなどが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入